

■企画立案の経緯

リフォームを行う際に壁紙や天井など、室内を占める多くの面積をクロスに貼りかえると室内イメージが大きく変わり、リフォーム効果が高まると言われています。しかし、壁や天井以外の大きな面積である「扉」は変更しないでリフォームを終了するケースも少なくないようです。例えば和室リフォームを行う場合、襖周りの敷居や鴨居、襖収納の戸袋などが部屋の構造上建築躯体と一体化していると、襖を洋風扉に変更するには案外費用がかさんでしまいます。それが、扉のリフォームをしない理由の一つとも言われています。

一方で、襖が旧来の和風イメージになってしまう大きな要因は襖を構成している部材の色、とりわけ襖椽(ふち)によく使われる黒色や茶色、それに合わせた引手の色、襖紙の模様や柄色とも言われています。リフォーム時にコストの問題で襖をそのまま残す場合、襖椽(ふち)の色変更コストは高く、比較的安価に済む襖紙の洋風クロスへの変更が多く見受けられます。しかし、襖椽(ふち)が現状維持のためか、引手は椽(ふち)の色に合わせて旧来通り変更をしないことが多いようです。

ある時、リフォーム関連のお客様から、一つの提案を一般ユーザー様にしているというお話をお聞かせいただきました。それは、実は襖引手の変更コストが最も安価であり、たとえ襖椽(ふち)の色変更ができなくても引手の色を変更するだけで、イメージを大きく変えることができるという提案でした。つまり、旧来の考え方である「引手を襖椽(ふち)の色に合わせる」のではなく、**部屋全体の一体感をできるだけ考慮したリフォーム**ができるのです。今ではクロス生地に合う色の製品をいくつか持ち歩き、実際に一般ユーザー様に見せ、納得感の高い活動をしておられます。



パソコン用特設ページ(コンセプト編)

そこでBIDOOR(ビドール)では、そのようなユーザー様の潜在ニーズを引き出すお手伝いをするために、クロス内装にマッチする襖金物を多数ご用意しました。引手を変えるだけで旧来の和風イメージを安価に簡単にチェンジすることができます。大変好評のパール系・ホワイト系の襖金物を、複数のインテリアコーディネート例と共に分かり易く再編集しています。クロス壁や天井と襖のイメージに合わない…でも、襖まで変更する予算がない…。そのようなお客様のニーズをご存知なリフォーム業界の皆さん！このパンフレットさえあれば、安くてオシャレなイメージチェンジ法をお客様に簡単にご提案できます。